

村田 卓也、坂本 翼、田上 款（京都大学学術研究展開センター）

内容

大型の研究費獲得は、研究者にとっては研究遂行の大きな助けになるだけではなく、研究機関にとっては研究力の強化、間接経費収入の増大という大きなメリットを大学にもたらす。従って、一連の研究費申請支援プロセスにおいて、URAは大きな役割を果たす必要がある。

大型研究費の多くは書面審査通過後にヒアリング審査が開かれることが多いが、ヒアリング対象課題になる絶対数は少なく、申請書作成支援ほどはURA間でノウハウが継承されづらい。ここでいうヒアリング審査支援とは、ヒアリング資料作成のサポート、模擬ヒアリングの開催が考えられる。それぞれの支援をどのように実施していくのがよいのか、どのようにノウハウを継承するのがよいのかを議論したい。

資金配分機関	研究費
JSPS	科研費（特別推進、基盤（S）、学術変革（A））
JST	CREST、さきがけ、ACT-X、創発、ムーンショット、A-STEP、未来社会創造事業
AMED	AMED-CREST、AMED-PRIME
ERCA	環境研究総合推進費
NEDO	先導研究プログラム

表 1 学術研究展開センター（KURA）が近年手がけた主なヒアリング審査支援



図 1 KURAが行う模擬ヒアリングの体制

- 本番と同様な環境で実施する（オンライン、発表時間、模擬質疑応答時間）
- スライド改善のアドバイス
- 研究者からのフィードバックにより、Tips、ノウハウを蓄積
- OJTを重視

図2 KURAが行う模擬ヒアリングのポイント

第3回ヒアリング支援 スキルアップWS

2023/7/4 村田 卓也



KYOTO UNIVERSITY

1

本日のタイムスケジュール

1	イントロダクション	10分	10:00~10:10
2	模擬ヒアリングの際のプレゼンを視聴。	10分	10:10~10:20
3	グループディスカッション1 皆さんが持ち寄った質問の発表と、皆さんが持ち寄った質問の良いところ、改善できるところ。	25分	10:20~10:45
4	村田からのコメント	10分	10:45~10:55
5	休憩	10分	10:55~11:05
6	グループディスカッション2 皆さんが持ち寄ったコメントの発表と、コメントの良いところ、改善できるところ。	25分	11:05~11:30
7	村田からのコメント	5分	11:30~11:35
8	全体討論	15分	11:35~11:50

KYOTO UNIVERSITY

2

本日は実践形式のワークをします

- 模擬ヒアリングを記録した動画を視聴します。
- 視聴後、みなさんが事前に考えてきた・視聴した際に気づいた質問をグループ内で共有します。
- それぞれの質問のどこが良かったか、改善するとしたらどこかを議論します。

KYOTO UNIVERSITY

15

図3 ヒアリング審査支援のスキルアップ・スキルの継承を目的としたワークショップをKURA内部で実施

- 研究者の許諾の元、プレゼン動画やスライド資料・申請書をWSで活用。
- WS主催者から参加者（特に経験の浅いURA）に対して、基本スキルの例示。
- グループディスカッションを通じた、ベテランURAから新人URAへスキルの継承。

図4 本ワークショップのポイント

- 年2～3回WSを開催することにより、KURAメンバー全体のスキルをアップグレードする。
- 支援のグッドプラクティス・研究者からのフィードバックにより、ヒアリング支援のさらなる体系化を目指す。

図5 今後の展開